
2つのプログラムの評価方法

2つのプログラムの評価項目

評価項目	評価内容	評価方法
有効性	各プログラムの受講により、生徒のSTEAM分野に対する興味関心や学習意欲、が高まるか ※将来（進学分野や就職業種）の意向も確認	プログラム実施前、実施後のアンケート調査（生徒・教員）
妥当性	各プログラムのテーマや内容は農業高校のニーズに合っているか	プログラム実施後のインタビュー調査（教員）
持続性	教員が活用し、自走が可能なプログラムになりうるか ※教員の負担、補助員の必要性、学習実施の課題を確認	プログラム実施後のインタビュー調査（教員）
その他	農業単科の学校で実施する場合と、農業、商業、工業系の学科生徒が共同で参加する学校で実施する場合に、学習効果や実施課題に差があるか	各校のアンケート結果の分析

STEAM プログラム開発委員会

概要 (STEAM プログラム開発委員会)

- ◎ 本事業で実施する 2 つの STEAM プログラムをベースに、農業をテーマとする STEAM 学習プログラムを開発することを目的とする。
- ◎ 月 1 回の会議を実施し、2 つの STEAM プログラムの実施内容について助言し、実施結果や成果物の評価を行う。
- ◎ 実施結果や成果物の評価に基づき、各プログラムをより効果的で拡張性のある教材とするために必要な要素をとりまとめ、事業の最終報告を作成する。

メンバー (STEAMプログラム開発委員会)

分類	氏名等
幹事	・ 中島さち子（音楽家、東大数理特任研究員、steAm 代表） ・ 田中香津生（東北大学サイクロトロン・ラジオアイソトープセンター測定器研究部助教）
各プログラム 担当専門家	・ 吉原淳之介（クリエイターキャラバン） ・ 岡本 雄樹（アシアル株式会社Monacaプログラミング教育アドバイザー） ・ ベジタリア株式会社（IoT、IPM 担当） ・ ほか専門家（RRPFデザイン思考専門家らプログラム実施者）
学校関係者	・ 事業参加校（6校）の担当教員、補助教員など
アドバイザー リー委員	・ 福島 実 全国農業高等学校長協会理事長、群馬県立勢多農林高等学校長 ・ 並川 直人 日本学校農業クラブ連盟※代表 東京都立農産高校長 ※全国農業高校生9万人が全員参加する課題学習の全国組織

運営スケジュール (STEAMプログラム開発委員会)

◎全4回、2018年10月～2019年1月の4ヶ月間に月1回の会議を開催

- ・オフラインまたはwebミーティングにて開催。
- ・会議1回あたり2時間を想定
- ・期間中、クローズドの共有ツールを使用し進捗と発生事項、対応と対策を共有。

◎運営スケジュール

- | | |
|-----------|---|
| 第1回 10月 | 2つのプログラムの実施スケジュールおよび実施内容と期待する成果物の確認 |
| 第2回 11月末 | プログラム実施状況の確認と課題の把握、改善案の討議 |
| 第3回 12月中旬 | 各プログラムの専門家からプログラム実施結果と成果の報告
委員による評価および意見交換 |
| 第4回 1月下旬 | 成果報告書の原案について討議（2月25日提出締切） |

各会議はSTEAM推進事務局が運営。議事録および各専門家から提供された資料について、STEAMプログラム開発会議としての最終報告を取りまとめる。

実施校について

実施校（全国農業高等学校長協会による公募で選定）

全国の農業系高校
365校から募集。
16校の応募のうち
6校を選抜

